

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回弘前市社会福祉問題対策協議会
開 催 年 月 日	平成30年9月26日(水)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時30分から14時45分まで
開 催 場 所	弘前市役所市民防災館 3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	葛西 久志
出 席 者	会長 葛西 久志 委員 秋山 邦男 委員 牛田 泰正 委員 柳田 光祥 委員 牧野 俊一 委員 三上 ナツエ 委員 小島 康司 委員 吉本 睦子 委員 相馬 齋弼 委員 森山 正 委員 長尾 春夫 委員 小野 穰 委員 工藤 悦
欠 席 者	中田 美保子委員
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	健康福祉部理事 須郷 雅憲 福祉政策課課長 今 敏行 同課長補佐 秋田 美織 同主幹兼総務係長 田澤 千佳 同専門員 須藤 悟 同政策調整担当総括主査 工藤 麻子 同総務係主事 千葉 勝博 同総務係主事 小枝 純暉
会 議 の 議 題	「(仮称)弘前市地域福祉計画」について
会 議 結 果	別紙会議録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	平成30年度第1回弘前市社会福祉問題対策協議会資料

<p>会議内容 ( 発言者、 発言内容、 審議経過、 結論等 )</p>	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱辞令交付</p> <p>3. 健康福祉部理事 挨拶</p> <p>4. 組織会</p> <p>弘前学院大学 葛西久志委員を会長にとの推薦があり、全会一致で決定。</p> <p>葛西会長より、会長職務代理者として、秋山 邦男委員を指名。秋山委員、会長職務代理者への就任了承。</p> <p>5. 協議</p>
<p>事務局</p>	<p>案件、(仮称)「弘前市地域福祉計画」について。</p> <p>事務局から、資料1、2に基づき、計画の概要と素案の内容について説明した。</p> <p><b>【主な質疑応答】</b></p>
<p>委員</p>	<p>地域共生社会ということで、基本的には、「縦割り」社会から「丸ごと」ということだが、行政はもちろん、地域住民に対する期待が大きいと理解している。事務局としてはどのようにとらえているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>行政だけでは対応が難しくなっている中、高齢者のみならず、若い人や、町会組織や農業者団体なども含めて地域の「力」を集結させ、地域課題に取り組んでいきたい。お互いが力を出し合って取り組んでいくような体制づくりを、計画期間中に様々な事業で検討したい。</p>
<p>委員</p>	<p>福祉に限らず、様々な組織化をして、地域の力を発揮してい</p>

事務局	<p>くということか。</p> <p>市役所の中では分野ごとに対応してきているが、例えば、高齢者の交通手段についての検討は、庁内の関係課と一緒に取り組んでいかなければならないと考えている。</p>
委員	<p>「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」の違いは何か。</p>
事務局	<p>「地域福祉活動計画」は、弘前市社会福祉協議会が策定に取り組んでいるもので、市社協とも連携を取りながら、同じ方向を向いて地域福祉活動を進めていけるよう、協議を進めている。</p>
委員	<p>「地域共生社会」の構築に向けては、既にいろんな処で「施策が講じられている。その中で、地域の各団体が今まで以上に自分たちのこととして活動していかないと、これからの社会はやっていけないと感じている。</p> <p>市にはこの計画をきちんと作ってもらい、県も、いろいろ助言をする。それに合わせて、今回、参加している団体の方々も、自分たちが主体者だということで、ぜひ、参画していただきたい。市も、委託して「終わり」でなく、各事業は市が中心となって、様々な形で計画を組んで提案し、取り組んでいただきたい。</p> <p>先ほど、この計画は福祉部門だけではできないという説明があった。今後は福祉部門だけでなく、他の部署を巻き込んだ形で市もやっていただきたい。現時点で、全庁的に連携する計画や協議体、推進体制を作る予定はあるか。</p>
事務局	<p>市では部長級の会議が毎月開催されており、分野を超えて意見を出し合い、協力しながらより良い解決方法を協議することができている。また、これまでも、健康づくりについて、市教育委員会を含めて情報交換をした例がある。今後も、同じように意見交換の場を設けたいと考えている。</p> <p>その上で、計画の「基本目標4」では、相談体制の充実と関係機関との連携強化などについて取り組んでいくとしており、地域での見守りと助け合いネットワークの充実という形で、各々活動されている地域団体の地域における活動についても、連携が取れるか話し合っていきたい。</p>

委員	<p>地域活動をする各主体の方々が何をしたら良いのか、具体的なイメージが湧かない。具体例を挙げた説明の記載をお願いしたい。</p>
事務局	<p>うまく地域活動が行われている事例など含め、説明できるように整理していきたい。</p>
委員	<p>「何をやったらいいのか。」「どうしたらいいのか。」が良く判らない。数値目標の設定も必要である。わかりやすく、明確なメッセージとしてスローガンを示してはどうか。</p>
事務局	<p>評価指標については、施策と評価指標の所で評価指標を仮置きしている。目標値についても、市総合計画と連動する形で落とし込んでいきたい。</p>
委員	<p>地域共生社会は、地域住民、事業者の役割とは言うものの、やはり、行政の役割は重要だと思う。</p> <p>そのような中で、地域住民の役割の「地域を担う人財の発掘」は、どのような進め方で発掘していくのか。</p>
事務局	<p>障がいの有る無しに関わらず、地域においてそれぞれができる部分、地域に貢献できる部分で、誰もが役割を持って地域に参加できる社会を作って行きたいというのが、地域福祉計画の目標になっている。</p> <p>また、地域の人材の発掘について、観光分野とか、商工分野とか、福祉分野とか、それぞれの分野では、地域で活動している人の情報は持っているが、それを総合的に融合させて、どう関われば活動がより活発になるのか、という話し合いの部分が薄いと、市長も機会があるたびに述べている。いろんな人材を見い出し、活用し、情報として集約して、活躍の場を創っていく必要がある。できれば、この計画の中でもそういう情報の場を提供していきたい。</p>
委員	<p>私の町会はまとまっていて、コミュニティもできている。町会の旗振り役として、町会長の役割がとても大きいことから、町会長の育成に力を入れるべきと考える。</p> <p>この地域福祉計画に書いてあることを具体的に落としこんでいくときに、地域の力をつけていかないと、いくら良いことを言っても、進まないように感じる。</p>

<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>地域をけん引するリーダーは重要であり、地域に合ったやり方を進めていくのが大事だ、という方向性を持って進めていければと考えている。</p> <p>これからは、幸福度の真ん中くらいに居る全員が、渾然一体となって、「良い社会を創っていくべし。」「我も切ネエけども、オメもって切ネそうだはで手コ貸すジャ。」という時代になるのではないか。市は、この計画に基づき、自信を持って進めていただきたいと思う。</p> <p>基本目標4の1)健康寿命の延伸、「生きていて良かった」という経験をすることはとても重要なこと。ぜひ、「特に重点的な事項」として位置付けて欲しい。最終的目標はここだと思う。</p> <p>&lt;その他について&gt; その他、協議会の今後のスケジュール等を説明。</p> <p>&lt; 散会 &gt;</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>傍聴者：報道機関 1名</p>